



第16回上田八木・金融政策サーベイ(2017年12月)の結果について

～12月のMPM予想は回答者の99%が政策変更なしの見方。金利予想は概ね不変を予想。出口開始時期は今から3年未満との見方が73%に増加(前回67%)。

2017年12月19日(火)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 回答者(177先)の99%が12月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 金利予想はどの年限も概ね不変を予想している。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が6%と前回(4%)より上昇、「1年以上3年未満」が67%と前回(63%)より上昇、「3年以上」の見方が27%と前回(33%)より減少。

【調査の概要】

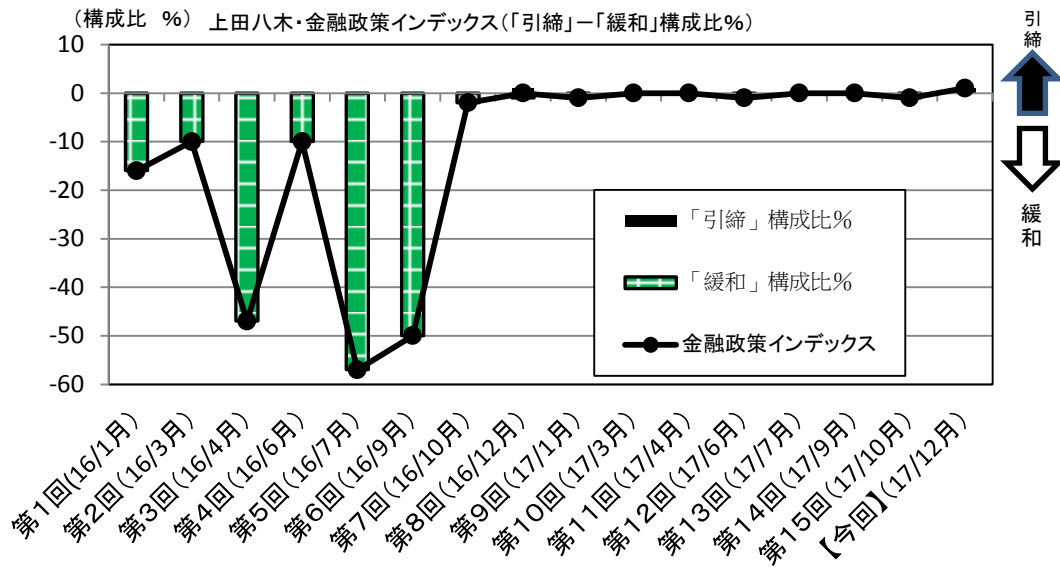
調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年12月14日～18日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	89.8% (回答者数177先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(12月20日～12月21日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方(前回と同じ)。

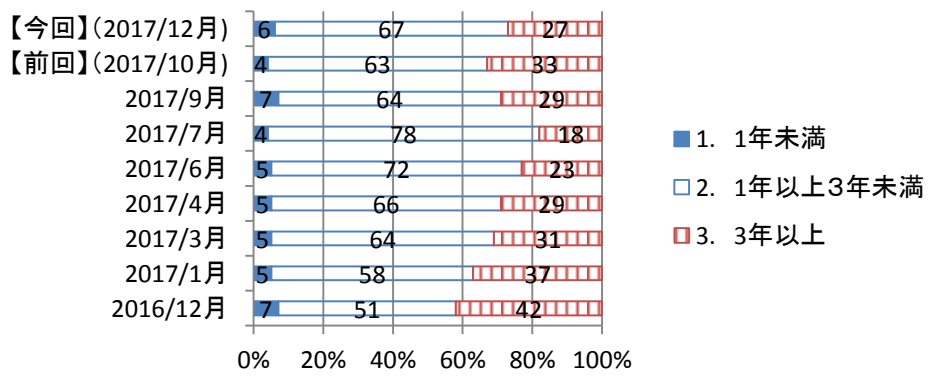
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、+1だった(前回▲1%)。



(ご参考)

【今回9回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

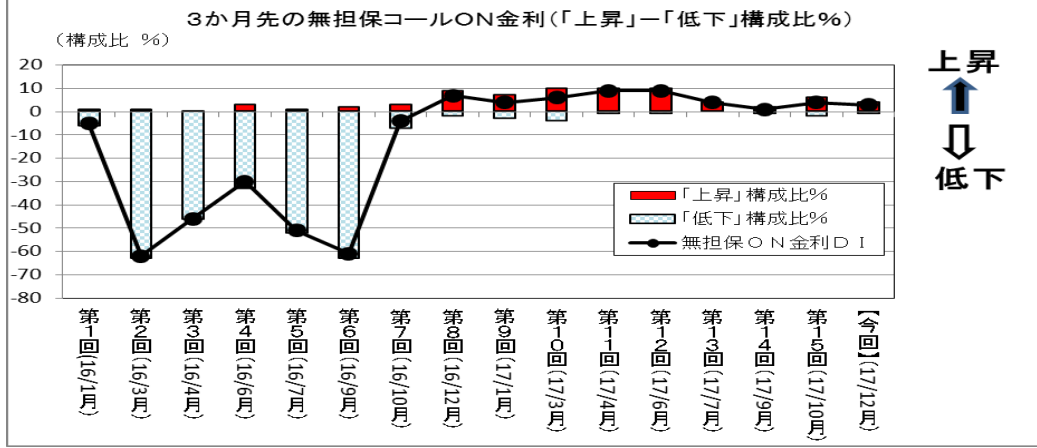
3年未満と回答する先が73%に増加(前回67%)。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の95%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は4%だった。

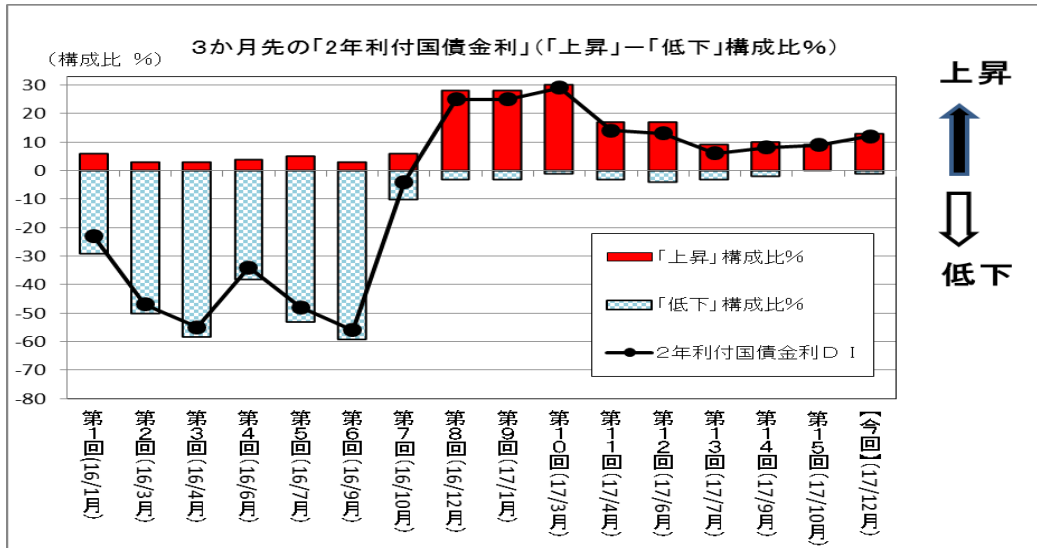
前回との比較では、「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回2%→今回1%)。
 「不変」とみる先が+3%ポイント(前回92%→今回95%)。
 「上昇」とみる先は▲2%ポイント(前回6%→今回4%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の86%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者1%。「上昇」を予想した先は13%であった。

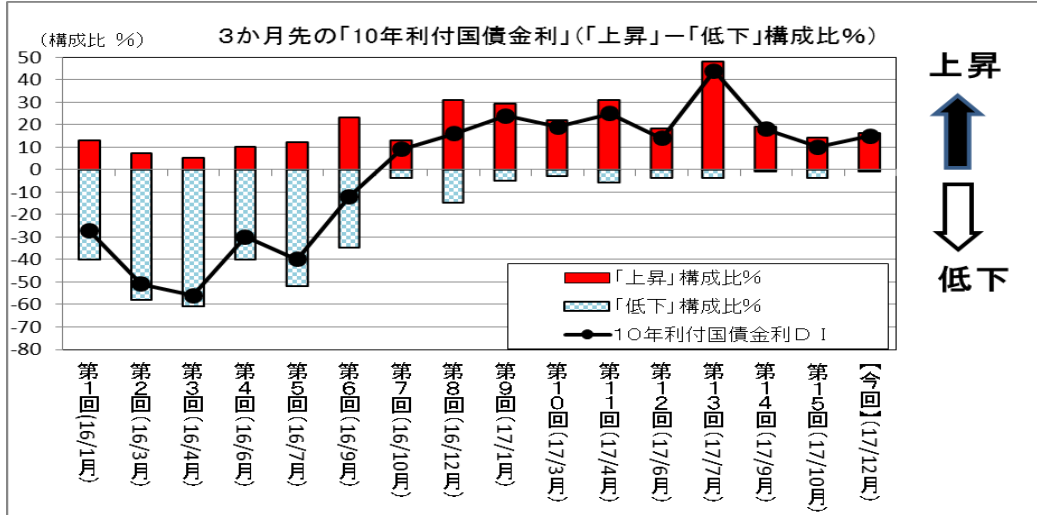
前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回0%→今回1%)。
 「不変」とみる先は▲5%ポイント(前回91%→今回86%)
 「上昇」とみる先は+4%ポイント(前回9%→今回13%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の83%が「不変」を予想。1%が「低下」、「上昇」を予想した先は16%。

前回との比較では、「低下」とみる先は▲3%ポイント(前回4%→今回1%)。
 「不変」とみる先は+1%ポイント(前回82%→今回83%)。
 「上昇」とみる先は+2%ポイント(前回14%→今回16%)。



【本調査に関する照会先】
 企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)